

高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム 関西大学：海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム

背景

少子化により国内市場の限界 ASEAN の発展

日本の国内市場は、少子高齢化の進展等により、今まで以上の大規模な発展を見込むことは困難な状況である。そのため、タイ、インドネシア、ベトナム等の ASEAN の旺盛な発展を取り込むことは、日本企業が成長するためには不可欠のものとなっている。

課題

現状の海外子会社経営に対して不満

ASEAN に進出している企業 32 社の経営幹部および海外子会社の経営に携わっている従業員へのヒアリング調査を実施し、現状の海外子会社経営に対して満足していない方向性を確認。現地企業出向者の実質的なコストが高い、現地従業員を教育し、経営層に登用することによる「現地化」が進まない等

ニーズ

海外子会社経営を担う高度人材の不足

海外進出企業の経営者は、現地子会社が ASEAN の旺盛な成長を取り込んで非常に成長し、ASEAN を基盤に第 2 の発展を果たすことができるような、海外子会社経営を担う高度人材を求めている。

海外子会社の経営を担う「考動力」あふれる高度な人材

- ① ASEAN に関する幅広い知識と教養を有し、
- ② 現地の人々と対等でウィン・ウィンな関係を築き、
- ③ 問題点をいち早く認知するとともに、
- ④ その問題点に対し、自らの頭で自主的によく考えて判断し、
- ⑤ 自らの責任で自律的かつ積極的に行動し、解決していくことで、
- ⑥ 会社を発展させていく能力。

ASEAN での大規模工場の
マネジメントができる高度人材

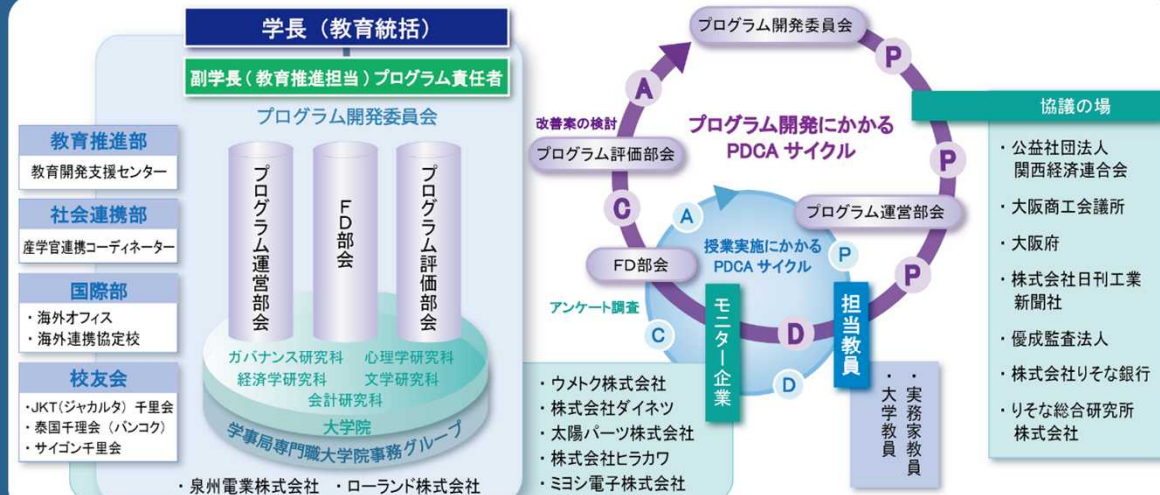
ASEAN での工場における設備投資の
判断ができる高度人材

ASEAN での労働問題等に
対応できる高度人材

ASEAN での事業拡大及び新規営業を
指揮できる高度人材

ASEAN 政府の法令規則等の改定及び経済情勢、政治情勢の
変化に対応できる高度人材

取組実施体制・プログラム開発・実証・改善サイクル



履修証明プログラム

演習（ケーススタディ）
ASEAN での子会社経営
実践基礎教育プログラム
必修：2 科目

海外派遣者の心理・健康管理
ASEAN の地理・歴史
ビジネス英語 企業会計
専門教育プログラム
選択必修：14 科目

課題研究（トータル事例）
課題研究（事例分析）
実践応用教育プログラム
必修：2 科目

ASEAN 現地企業への訪問
海外協定大学での授業受講等
コンサルタントとのミーティング
エクストラプログラム
希望

教育方法等

【e-Learning】

IT を活用して事前に 30 分程度のプレ授業を受講し、課題を行って、必要な知識を習得したうえで授業や演習を受講。

【集中合宿授業】

「演習（ケーススタディ）」及び「課題研究（事例分析）」の一部は、週末を利用して、本学研修施設で 1 泊 2 日の集中合宿により授業を実施。異なるバックグラウンドを有する受講者が、具体的な実践的な思考を合宿という形で、意見をぶつかり合わせることで、受講者の教育効果を高める。

社会人への配慮

【時間的制約】授業を週 1 回土曜日に実施。【場所的制約】東京・大阪駅近辺での開講
【欠席者への配慮】講義収録・配信システムによる授業配信

成果目標

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
ニーズの把握 プログラムの開発			
受講生の確保	10 名程度	20 名程度	【前期】 25 名程度 【後期】 30 名程度
プログラム開発	2 科目	14 科目	2 科目
実践プログラム実施	実践基礎教育プログラム 1 科目 5 コマ 専門教育プログラム 1 科目 5 コマ	実践基礎教育プログラム 2 科目 25 コマ 専門教育プログラム 14 科目 36 コマ	【前期】 実践応用教育プログラム 2 科目 30 コマ 【後期】 全科目実施
ニーズ調査 結果報告		中間報告	最終報告